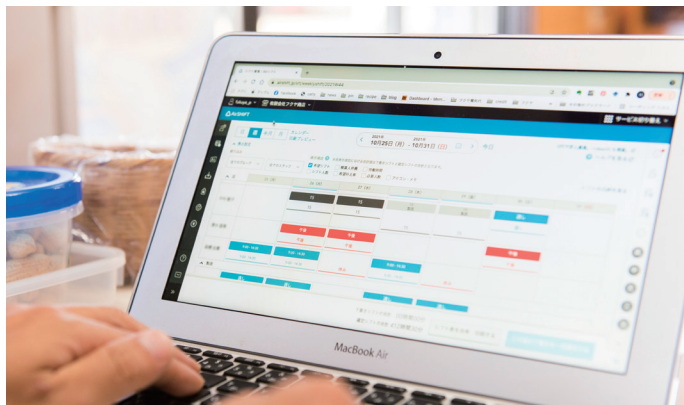




繁忙期のシフト管理を楽にしたいと『Airシフト』を導入。パート従業員の都合に合わせて働くことができる環境づくりにつながった



以前は口頭で休み希望を聞いて手書きで作成していたシフトが自動化でき、シフト管理に費やす時間が削減された



シフト作成作業の負担が軽減され、ミスがなくなったことが『Airシフト』を導入した最大のメリットだと福田氏は語る

以前は口頭で休み希望を聞いて手書きで作成していたシフトが自動化でき、シフト管理に費やす時間が削減された



〒289-1103 千葉県八街市八街に242
営業時間：9時～18時
定休日：毎週日曜日（12月を除く）
<https://rakkasei.com/>

繁忙期のシフト管理を楽にしたいと『Airシフト』を導入。パート従業員の都合に合わせて働くことができる環境づくりにつながった

以前は口頭で休み希望を聞いて手書きで作成していたシフトが自動化でき、シフト管理に費やす時間が削減された

以前は口頭で休み希望を聞いて手書きで作成していたシフトが自動化でき、シフト管理に費やす時間が削減された

サポート体制

『Airシフト』への登録後は、専門スタッフによる電話での導入サポートを実施。操作に困ったときには気軽に相談できる体制が整えられている。

お問い合わせ先
Airシフト ヘルプデスク
電話：0120-759-225（平日10時～19時）
<https://faq.airshift.jp/hc/ja/requests/new>

シフトボード

スタッフ用シフト管理アプリとして、圧倒的な人気の無料アプリで、ダウンロード数は700万以上

『シフトボード』上で、シフトの提出・確認ができる他、店側とチャットでやりとりが可能。また、一度追加したシフトは履歴から素早く複数追加できるなど、管理も楽に行える。毎月の給与を自動計算してくれる機能など、スタッフが欲しい機能を網羅している点が、圧倒的な人気を誇る理由だ。店舗が用意するQRコードを『シフトボード』で読み込むだけで簡単に連携ができるのも、支持されているポイントだ。



注目の「Airシフト」導入店取材

有限会社フクヤ商店



やりとりも作成もラクになるシフト管理サービス

AirSHIFT

落花生専門問屋
スタッフ数／30名
代表取締役 福田浩章氏

パート従業員の働きやすさに配慮して導入

希望シフトの収集とシフト調整が効率的になり、

個々の要望に合わせた働き方が実現



落花生の栽培に適した温暖な気候と水はけの良い豊かな土壌に恵まれ、生産量日本一を誇る八街産落花生。地元の生産者約30軒から届く落花生の加工を行い、店頭販売とEC、スーパーなどの小売店への卸も行っている

千葉県八街市で1950年の創業以来、八街産落花生の魅力为全国に発信しているのが有限会社フクヤ商店だ。

同社は地元の生産者から仕入れた落花生の加工、販売、卸を行う落花生専門の問屋。千葉県の地場品種である「千葉半立」「ナカテユタカ」「Qなつつ」の3種を主体に、さや煎りや素煎り、茹で落花生、チーズやイチゴなどの味が付いた豆菓子など、バラエティ豊かな商品を展開する。日常的に食べるおやつやおつまみとしてだけでなく、贈答品としても評価が高く、八街産落花生のファンは多い。

手書きからデジタルに移行
うっかりミスがなくなり
繁忙期でも心に余裕ができた

同社は、落花生の販売店と加工工場を同じ敷地内で運営。従業員は現在、販売店5人、製造25人の計30人が在籍し、全てパート従業員で構成される。

3代目を務める代表取締役の福田浩章

氏は、事業承継後のパート従業員の働き方について次のように話す。

「僕が事業を引き継いだ10年前は9時から17時までの固定勤務で、パート従業員の皆さんのシフト管理をする必要がほとんどありませんでした。パート従業員は主に主婦層ですが、徐々に世代が若返り子育て世代の方が増えてきた頃から、彼女たちそれぞれが都合に合わせた働き方ができる体制づくりを強化しなければと考ええるようになりました。人手不足で採用が難しい昨今、雇用した方々が長く働きたいと思える職場にする必要があると思ったのです」

働きやすい環境づくりの必要性が高まっていたことに加え、同社では毎年11～1月の繁忙期に短期アルバイトを採用。1日3時間勤務の短期アルバイトが増えるこの時期は、シフト管理が煩雑になっていた。そこでシフト管理業務を簡素化するため、2020年3月にリクルートが提供するシフト管理サービス『Airシフト』を導入した。

導入前は、従業員から休みの希望を聞いて、福田氏が手書きでシフトを作成。特に希望提出のための仕組みを持たず、一人一人に口頭で聞いて福田氏が記憶し、紙に反映させていたためミスが多かったという。

「この日は人員を余計に確保しなければならぬのに、出勤できる人を集めることをうっかり忘れて、シフト作成を後回しにしてしまうことでの失敗も多くあった」